

報 告 書

(第1班)

開催日時	平成25年 1 月 30 日 (水) 午後7時～午後8時45分				
開催場所	竹駒 町 コミュニティセンター				
	(班長) 小松 眞、(副班長) 菅野 広紀、(司会) 菅野 広紀 (報告者) 及川 修一、(記録者) 松田 信之、(幹事) 伊勢 純 (幹事) 佐々木 一義				
参加者数	25人	意見数(のべ)	25件	アンケート数	件
主な要望 ・提言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防や一本松以上に高齢者や弱者の立場を考えたら、早期に仮設の解消を図り、生活の再建を急ぐべきではないか。</li> <li>・公営住宅の建設を更にスピード感を持って取り組んでほしい。</li> <li>・何が優先すべきかは様々だが、新たなものも含め道路をデザインすることが重要と考える。</li> <li>・市役所の建設予定地は、高台を望む。</li> <li>・市役所の場所としては現在のところでのよいのではないか。消防署、警察署、市役所の3セットで良いのでは。</li> <li>・「世界に誇れるまち」とはどのような意味なのか。議員の方々はどのように理解をしているのか。</li> <li>・小友地区に放射能の影響から、除染された牧草が集積されているが、周知されているのか。保管は安全なのかなど情報はどのようになっているのか。</li> <li>・竹駒地区にバスターミナルが予定されるとしているが、道路が狭く幹線道路と共に拡張の計画はないか。</li> <li>・被災時に非常に有効であった道路（上細根～仲の沢）の工事が中断されている。通学路でもあり早期に完成を望む。</li> <li>・高田町西地区造成工事について、竹駒地区にも考慮した排水の在り方を検討すべきと考える。</li> <li>・竹駒地区の雨水などの排水について、気仙川との関係や堤防との関係から調査を望む。</li> <li>・竹駒地区の各沢々からの雨水など、排水の状況が悪い。防集など高台の造成に当たっては遊水地などの整備もすべきと考える。</li> <li>・BRT について、どのルートを運行するのか。また、JR との話合いはどのようになっているのか。</li> </ul>				

<p>所 感</p>	<p>小松 眞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の所定の資料の外に、地域にはそれぞれ地域の課題があるので、意見交換の場を設けるには課題の事前調査の必要性を感じた。</li> </ul> <p>したがって、報告会の低調さを指摘されているが、案内・広告も必要だが、報告の内容が住民の主体と直接的な呼び掛けとして地域にある各種団体組織等への働き掛けも必要と感じた。</p> <p>及川修一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹駒の震災以降の環境が住民に戸惑いを与えていることを感じた。商店、銀行などが集中する地域にとって道路問題は喫緊の課題であることを改めて確認したが、的確な答弁ができない場面が多かったため、地域代表としての議員不在が同地区悩みでもあるとの思いも寄せられた。</li> </ul> <p>放射性物質を含む牧草が小友浦干拓に集積されていることをこの場で指摘され、そのことを知らなかった議員が大半で、市役所の情報開示や住民説明の希薄さを感じ取った。</p> <p>菅野広紀</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会への請願の制度が理解されていない、コミュニティ協議会から市に要望書を提出しているが議会へは陳情・請願が出されていない、もっと請願・陳情の制度を活用して欲しいと感じたと同時に議会の側でも PR が必要と感じた。</li> </ul> <p>松田信之</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域的課題として、大雨や洪水など排水の対策や道路の整備などについて多く意見が寄せられた。</li> </ul> <p>佐々木一義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長は「世界に誇れる町をつくる」と言うが、市役所を浸水地に建設しようとする考えが理解できない。西地区を開発しているが、そこに市役所、病院を集めたほうがよいとの意見を強く感じました。</li> <li>・今、国道340号の渋滞が酷い、玉山への道は狭く、今後、BRTの出入り等で交通量が増えてくるので、速やかな改修工事を望む声を多くあり、大水が出たとき、十日町に水が溜まる場所に、仮設店舗が建設されていることへの不安の声がありました。</li> <li>・「小友干拓地のがれき置き場に、放射能に帯びた牧草地が保管されているのを、議員は知っているのか」と問われ、知らないことなので答えられなかった。議会報告会で知るということでなく、もっと歩き、いろいろな声を聴く努力が不足していたと自己反省しました。</li> </ul> <p>伊勢純</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の関心は、広い範囲で、しかも詳しい情報や説明を望むもの</li> </ul>
------------	--

	だったと思う。参加者からは、地元での道路や堤防整備の事業について、その見込みや改善案があげられ、また市内で仮置きされている牧草の安全な管理を求める意見等があった。仮置き牧草については、報告会の次の日に班内の議員2名が現地調査にあたるなど、報告会であげられた質問にはその後に判明した情報などを早急に班を構成している議員全員で地元に戻答するという取り組みが必要なのではないかと考えた。
--	--

陸前高田市議会議長 殿

平成25年 月 日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成25年度議会報告会第1班

班長 小松 眞 ㊟